

VII 学習環境整備事業の概要

市民の学習活動の拠点となる市民館等の基盤整備を行なった。

1 教育文化会館・市民館運営審議会

1987（昭和62）年度まで1審議会で全市的な視点による諮問事項について審議してきたが、1988（昭和63）年度から各館別に7審議会（1館10名以内の委員を委嘱）が発足した。2013（平成25）年度も、それぞれの審議会が地域の諸問題にふれ、住民の学習要求に即応した活動及び運営がさらに豊かになることをねらいに開催した（任期2年の2年目・年4回開催）。

なお、2001（平成13）年度からは市民の参画を進めるために、各館の運営審議会に1名ずつ公募委員の枠が設けられた。公募にあたっては、市政だよりでの一斉広報だけでなく、各館だより、チラシなどでの広報を行っている。



2 刊行・広報活動

市民館等の事業を市民に広報することは、単に参加者の募集のためだけでなく、市民館活動への理解を深め、生涯学習・社会教育に対する認知を広げる意味も大きい。教文だより、市民館だより、ホームページ、ポスターやチラシ、事業ごとの文集など、さまざまな媒体を活用している。

3 職員研修

市民の学習と活動を支援する職員の力量を形成し、施設としての機能と専門性を高めるため、教育委員会人材育成計画に基づき、職員研修を実施している。地域・市民のニーズを把握し、事業を企画・立案・実践する力、学びの機会や課題解決をさぐる方法を市民とともに考える力など、社会教育施設の職員として必要な能力をつけるとともに、新たな課題への対応を図るため、2013（平成25）年度も10コースの研修を実施した。

4 視聴覚ライブラリー事業

市民館等で視聴覚ライブラリー機材・教材の貸出し事業を行った。

5 16ミリ映写機操作技術講習会

2013（平成25）年度は幸市民館、高津市民館、多摩市民館で実施した。

Ⅶ 1 教育文化会館・市民館運営審議会

(◎は会長、○は副会長)

館名	氏名	所属	区分	諮問・研究課題	開催月日	
教育文化会館	◎	村社 一夫	教育文化会館サークル連絡会 会長	2	地域防災と生涯学習 ～災害に強いまちづくりに、 教文はどうかかわるのか～	6・14
	○	青木 恵美子	川崎市地域女性連絡協議会 副会長	2		9・13
		星野 延平	桜本中学校 校長	1		
		菅野 利勝	川崎区文化協会 副会長	2		12・13
		五嶋 竹美	川崎区PTA協議会 顧問	2		
		中嶋 由利子	川崎区地域教育会議 副事務長	2		3・18
		藤田 悦子	公募委員	3		
	中村 香	玉川大学 准教授	4			
幸市民館		新堀 信之	西御幸小学校 校長	1	地域とつながる市民館 のあり方について	6・14
		遊佐 栄津子	幸PTA協議会 書記	2		9・10
		中村 和子	幸区分化協会 会計	2		
	○	斉藤 敦子	幸サークル連絡会 顧問	2		12・10
		島田 和代	公募委員	3		
	◎	中島 由貴	中島歯科医院 院長	4		3・13
	片岡 了	明治大学 非常勤講師	4			
	金井 岳	小鳩幼稚園 園長	4			
中原市民館	◎	小笠原 茂春	中原区子ども会連合会 会長	2	①中原区内市民利用施設の ネットワーク化に向けた 取り組み	6・19
	○	石倉 司奈子	中原区文化協会 副会長	2		9・18
		中村 清治	玉川小学校 校長	1	12・18	
		小林 松子	中原市民館サークル連絡会 庶務	2		②社会教育振興事業の 課題等について
		魚澄 亀勝	中原区新丸子東二・三丁目町会 副会長	2		
		渡辺 敏夫	中原区社会福祉協議会 理事	2		
		中村 卓史	川崎市今井中学校PTA会長	2	3・19	
	加藤 妙子	市民公募委員	3			
高津市民館	◎	鈴木 輝雄	元高津区PTA協議会 会長	3	期待される事業のあり 方について	6・21
	○	小倉 敬子	(財)かわさき市民活動センター 理事長	4		9・20
		山本 多央子	高津区PTA協議会 副会長	2		
		金 俊一郎	高津区地域教育会議 議長	2		12・20
		秋元 晴男	高津区全町内会連合会 理事	2		
		仙北谷 力	公募委員	3		3・14
		三橋 君枝	川崎市男女共同参画センター 館長	2		
		一色 恵津子	川崎市立南原小学校 校長	1		
	田村 富彦	高津区文化協会 理事・事務局長	2			
宮前市民館	◎	川西 和子	調査モデレーター・分析・司会業	4	世代間交流の促進	6・10
	○	宮本 光代	川崎市富士見台小学校 校長	1		9・2
		中上川 昭	宮前区PTA協議会 会長	2		
		中村 富美和	宮前区文化協会副会長	2		12・5
		今仁 奨	向丘第1地区民生委員児童委員協議会 会長	2		
		野田 精一	菅生分館利用者懇談会 前会長	2		3・4
		竹間 重雄	宮前区全町内・自治会連合会 副会長	2		
	近藤 桃子	公募委員	3			
多摩市民館	◎	末吉 一夫	多摩区町会連合会 副会長	2	市民館力を高めるための 市民館デー実施と検証	6・27
	○	吉田 紀代子	多摩区社会福祉協議会 理事	2		9・19
		直井 純一	長尾小学校 校長	1		
		米田 信一	多摩区地域教育会議 議長	2		12・11
		倉田 奈佐保	多摩区PTA協議会 副会長	2		
		小澤 章子	たま学習サークル連絡会 会長	2		3・11
		上村 知子	公募委員	3		
	平川 景子	明治大学 准教授	4			
麻生市民館	◎	清水 正己	会社社長	4	市民館の若い世代の活 用促進について	6・11
	○	本玉 秀夫	麻生市民館サークル連絡会 副会長	2		9・24
		井藤 直美	西生田中学校 校長	1		
		橋本 周	麻生区文化協会	2		12・10
		牧野 梨恵	麻生区PTA協議会	2		
		井上 俊夫	麻生町会連合会 理事	2		3・11
	鈴木 浩子	公募委員	3			
	岩本 陽児	和光大学 准教授	4			

※区分 1：区内に設置された学校の長 2：区内の社会教育団体から推薦された者 3：区内在住の社会教育に関する経験を有する市民 4：学識経験者（川崎市市民館条例 第21条第4項、川崎市教育文化会館条例 第21条第4項による）

Ⅶ 2 刊行・広報活動

教育文化会館だより・市民館だよりの発行一覧

教文	教育文化会館だより	年7回	各回	9,500部	
大師	プラザ大師インフォメーション	年7回	各回	9,500部	(教文だよりに併載)
田島	プラザ田島インフォメーション	年7回	各回	9,500部	(教文だよりに併載)
幸	幸市民館だより	年6回	各回	7,000部	
日吉	日吉分館だより	年6回	各回	7,000部	(幸市民館だよりに併載)
中原	中原市民館だより	年6回	各回	10,000部	
高津	高津市民館だより	年6回	各回	9,000部	
橘	プラザ橘だより	年5回	各回	4,000部	
宮前	宮前市民館だより	年7回	各回	8,500部	
菅生	菅生分館だより	年6回	各回	2,800部	
多摩	多摩市民館だより	年6回	各回	7,600部	(うち1回は子育て特集号)
麻生	麻生市民館だより	年6回	各回	8,000部	
岡上	岡上分館だより	年6回	各回	8,000部	(麻生市民館だよりに併載)

Ⅶ 3 職員研修

研修名	対象	回数	趣旨
社会教育 初任者研修	社会教育・行政職員（新任・未経験）	6	社会教育初任者として必要な基礎的知識や実践能力を養う
	内容	延べ人数	102人
	①社会教育・生涯学習とは ②川崎の生涯学習・社会教育の目指すもの ③人に好かれる聴き方・話し方とは？～あの人のようになりたい・・・ ④川崎市の人権施策と職員の役割＜人権尊重研修と合同＞ ⑤社会教育施設の課題と取り組み～市民館・図書館・博物館の実像に迫る ⑥社会教育施設職員の役割		
研修名	対象	回数	趣旨
指導・経営研修	社会教育・行政職員（主任～課長・施設長）	1	職場集団をまとめ、指導、補佐する職員や施設を経営する職員として必要な能力を養う
	内容	延べ人数	14人
	生田緑地での指定管理の状況から考える＜課題研修と合同＞		
研修名	対象	回数	趣旨
生涯学習研修	社会教育・行政職員、学校教職員、市民	3	社会教育施設職員として必要な生涯学習・学社融合に関する基本的な知識や実践的な能力を養う
	内容	延べ人数	59人
	①生涯学習・社会教育とは ②私と社会教育～退職予定市民館長講話 ③生涯学習と市民協働のまちづくり		
研修名	対象	回数	趣旨
人権尊重研修	社会教育・行政職員、学校教職員、市民	1	教育職員として不可欠な人権に関する知識や感性を獲得し、基本的・実践的能力を養う
	内容	延べ人数	17人
	川崎市の人権施策と職員の役割＜初任者研修と合同＞		
研修名	対象	回数	趣旨
課題研修	社会教育・行政職員、学校教職員	3	社会教育における様々な課題についての問題意識・専門性を高めることを目的とする
	内容	延べ人数	56人
	①自閉症について～障がい者社会参加事業参加者への接し方 ②入管法改正に伴う新しい在留管理制度の概要 ③生田緑地での指定管理の状況から考える＜指導経営研修と合同＞ ③青年教室活動報告会～他都市の障がい者対象事業に学ぶ：国立市＜障がい者ボランティア研修と合同＞		
研修名	対象	回数	趣旨
自主グループ研修	社会教育（全施設）・行政職員	20	社会教育職員が、その専門的能力の向上を図るために、自ら研修を行うことを支援する
	内容	延べ人数	162人
	Aグループ：川崎市立図書館における「図書館評価」を考える 全10回 Bグループ：「若者」の市民館利用を増やすには 全10回		
研修名	対象	回数	趣旨
市民館基礎研修	市民館職員（新任・未経験）	6	市民館の役割や課題を理解し、基本的な業務に必要な実践的能力を養う
	内容	延べ人数	52人
	①市民館事業の意義について ②学習の企画運営（1）～学習計画の立て方の基本 ③市民館事業の実際～事業体系と各事業の意義を理解する ④学習の企画運営（2）～学習プログラムの検証 ⑤学習の企画運営（3）～実務に向けて ⑥1年間を振り返る～関わった学級講座などを改めて評価する		

研修名	対 象	回数	趣 旨	
市民館基礎研修 PART II	市民館職員（2年目）	5	学級運営の能力を養うとともに、地域課題を的確に捉え、市民と協働して市民館事業を進める力を培う	
	内 容		延べ人数	36人
	①1年目に関与した事業等を振り返る～これからの研修課題を確認する ②先輩職員に学ぶ（1）～学級運営のポイント／私はこんなことに気を配っています ③先輩職員に学ぶ（2）～事業の広報／多くの市民に知ってもらうための工夫 ④先輩職員に学ぶ（3）～先輩職員の学級講座の体験実習 ⑤先輩職員に学ぶ（4）～実習経験の交流とまとめ			
研修名	対 象	回数	趣 旨	
図書館職員研修	図書館職員・行政職員・学校図書館関係職員	5	図書館の基本的業務に必要な実践的能力を養う	
	内 容		延べ人数	89人
	①図書館初任者研修～図書館業務の初歩を学ぶ ②経理事務研修～経理事務の基本と図書調達事務 ③レファレンス研修～初任者に向けたレファレンス（夏休み対策） ④データベース操作研修 ⑤全体研修～図書館におけるトラブル・危機管理について			
研修名	対 象	回数	趣 旨	
博物館職員研修	博物館職員・行政職員・学校教職員	1	博物館の役割や今日的課題を学び、業務に必要な実践的能力を養う	
	内 容		延べ人数	50人
	魅力ある博物館活動に向けて～東京都美術館の活動事例をもとに			

Ⅶ 4 視聴覚ライブラリー事業（機材一覧）

（視聴覚教材利用状況）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
教育文化会館	貸出本数	8	9	3	21	20	2	3	5	12	3	2	2	90
	利用人数	102	30	90	2347	1020	20	48	128	874	26	18	18	4721
幸市民館	貸出本数	0	5	3	9	7	0	0	0	0	0	0	6	30
	利用人数	0	2450	93	125	524	0	0	0	0	0	0	180	3372
中原市民館	貸出本数	0	0	8	9	3	2	1	2	6	1	2	9	43
	利用人数	0	0	148	2960	39	71	15	14	120	72	5	40	3484
高津市民館	貸出本数	2	5	6	13	0	0	3	3	1	2	3	1	39
	利用人数	32	154	180	2259	0	0	80	92	200	415	30	0	3442
宮前市民館	貸出本数	1	0	1	12	4	0	1	0	8	5	5	3	40
	利用人数	74	0	420	11800	43	0	410	0	311	400	1160	290	14908
多摩市民館	貸出本数	3	5	10	8	12	0	0	0	4	0	7	3	52
	利用人数	42	1490	210	5724	976	0	0	0	72	0	21	447	8982
麻生市民館	貸出本数	0	2	1	5	0	1	0	2	2	1	0	1	15
	利用人数	0	12	0	3	0	0	0	20	10	0	0	50	95
総合教育センター	貸出本数	1	0	3	2	10	0	1	5	0	2	5	0	29
	利用人数	80	0	335	6	3350	0	28	1500	0	160	467	0	5926
合計	貸出本数	15	26	35	79	56	5	9	17	33	14	24	25	338
	利用人数	330	4136	1476	25224	5952	91	581	1754	1587	1073	1701	1025	44930

視聴覚ライブラリー機材・教材貸出事業

○機材一覧

	暗 幕	16 ミリ 映写 機	ス ラ イ ド 映 写 機	O H P	O H C	ビ デ オ ・ モ ニ タ ー	ス ク リ ー ン	プ ロ ジ ェ ク タ ー	ビ デ オ 編 集 機	ア ン プ
教育文化会館	20	3	1	3	1	1	2	1(1)	0	1
幸市民館	26	2	0	1	1	1	2	2(2)	0	1
中原市民館	20	1	1	1	1	1	2	1(1)	1	0
高津市民館	20	1	2	1	0	1	1	1(1)	0	1
宮前市民館	28	5	3	2	0	1	1	2(1)	1	1
多摩市民館	7	1	0	1	1	2	1	1	0	2
麻生市民館	18	6	1	2	1	1	2	1(1)	1	1
総合教育センター	90	7	0	2	2	1	2	3(3)	0	1

（ ）はパソコン対応

○団体別利用状況（2013（平成25）年4月～2014（平成26）年3月）

団体 教材	官公庁 市役所							工場等 企業							学校関係市教委							社会教育関係団体						
	教 文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	教 文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	教 文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	教 文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生
暗幕	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	0	0	0	0	0	0	
16ミリ 映写機	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	
スライド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
OHP/OHC	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	8	0	0	1	1	1	0	0	
ビデオ・ モニター	3	6	1	2	0	0	16	0	4	4	5	0	0	3	1	1	7	0	1	7	1	0	2	9	16	4	4	
プロジェクター	12	35	8	35	1	10	5	62	2	39	17	7	12	9	24	13	6	41	3	21	47	6	1	3	16	10	4	6
スクリーン	33	23	15	0	0	0	5	96	2	27	8	9	0	6	19	12	5	11	0	35	42	12	1	1	1	10	0	9
その他	3	35	1	5	0	0	3	0	0	6	0	5	15	3	1	14	0	2	1	27	18	0	1	1	1	1	8	8

団体 教材	団体 サークル							町内会 自治会							その他							合計							総 計
	教 文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	教 文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	教 文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	教 文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	
暗幕	0	0	0	0	1	0	8	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	5	0	12	21
16ミリ 映写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	1	9	13
スライド	3	0	0	28	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	29	1	0	0	33
OHP/OHC	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	4	5	3	1	0	8	23
ビデオ・ モニター	2	10	26	58	10	15	13	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	16	3	0	1	45	17	34	96	34	20	21	267
プロジェクター	4	35	75	29	16	92	44	0	0	0	0	4	0	0	38	1	6	31	2	30	0	146	87	137	169	43	169	105	856
スクリーン	7	35	50	10	34	10	46	0	0	0	0	1	1	1	59	1	4	4	2	1	0	226	74	102	34	56	47	100	639
その他	0	184	7	1	4	0	15	0	0	0	0	1	0	0	3	0	1	1	3	70	0	7	234	16	10	15	120	39	441

Ⅶ 5 16ミリ映写機操作技術講習会

会 場	開 催 日	参加者	内 容
幸 市 民 館	2013年7月7日	28人	<ul style="list-style-type: none"> ・映写機の原理と構造及び利用方法 ・映写機の操作実習 ・映画フィルムの取扱い方法 ・視聴覚ライブラリーの利用方法
高 津 市 民 館	2013年6月23日	15人	
多 摩 市 民 館	2013年6月30日	21人	



KAWASAKI CITY

川崎市

2013 (平成25)年度 活動報告書

2014年4月1日発行

編集	川崎市教育文化会館	TEL 044-233-6361	FAX 044-244-2347
	川崎市幸市民館	TEL 044-541-3910	FAX 044-555-8224
	川崎市中原市民館	TEL 044-433-7773	FAX 044-430-0132
	川崎市高津市民館	TEL 044-814-7603	FAX 044-833-8175
	川崎市宮前市民館	TEL 044-888-3911	FAX 044-856-1436
	川崎市多摩市民館	TEL 044-935-3333	FAX 044-935-3398
	川崎市麻生市民館	TEL 044-951-1300	FAX 044-951-1650
	教育文化会館大師分館	TEL 044-266-3550	FAX 044-266-3554
	教育文化会館田島分館	TEL 044-333-9120	FAX 044-333-9770
	幸市民館日吉分館	TEL 044-587-1491	FAX 044-587-1494
	高津市民館橘分館	TEL 044-788-1531	FAX 044-788-5263
	宮前市民館菅生分館	TEL 044-977-4781	FAX 044-976-3450
	麻生市民館岡上分館	TEL 044-988-0268	FAX 044-986-0472
発行	川崎市教育委員会		
印刷	(株)小笠原タイプ社	TEL 044-522-6057	FAX 044-555-6371



KAWASAKI CITY

川崎市